

呼吸器内科年報 平成 27 年度

1. 呼吸器センターについて

平成 19 年 6 月に、呼吸器内科と呼吸器外科が統合して呼吸器センターが設立され、呼吸器疾患に対するシームレスな診療を目指している。なお、平成 27 年 4 月 1 日から診療報酬上は呼吸器内科と外科に分けてそれぞれの診療実績を把握しやすくした。

【呼吸器センターの構成】

呼吸器センター長：	福井部長（内科系部門統括）
副センター長：	黄部長（外科系部門統括）
内科系病棟医長：	櫻本副部長
外科系病棟医長：	大竹副部長

【センター全体での業務】

- 合同カンファレンス（月曜日 18 時から）

呼吸器センター（呼吸器内科、呼吸器外科）、放射線科（治療部門）、腫瘍内科が合同で主に肺癌患者の集学的治療について検討を行っている。

- 外来

外来Aブロック 9 診、10 診、19 診、20 診において、呼吸器センター内科と外科が並列して外来診療を行うことで、密接な診療協力をはかる。

基本的にAブロック 10 診は内科・外科部長が紹介患者や予約患者を中心に診察。

初診患者は各外来で分担して診察を行っている。

呼吸器センター 1 診（Aブロック 10 診）

月曜日から金曜日までは部長が担当。土曜日は内科系初診を中心に交代で担当した。

《呼吸器センター 1 診担当医師》

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
黄（外科）	福井	黄（外科）	福井	福井	交代（内科）

呼吸器センター 2 診（Aブロック 9 診）

月曜・火曜・木曜の午前中は初診外来、土曜日は外科系初診外来（交代）である。

月曜・火曜・木曜の午後と水曜日は、呼吸器センタースタッフが 15 分単位で自由に予約を入れることができる。外来化学療法中の患者や入院中検査の結果説明などで時間を要する診療に利用されている。

《呼吸器センター2診担当医師》

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
河島/自由枠	島/自由枠	自由枠	片山/自由枠	大竹（外科）	交代（外科）

呼吸器センター3診（Aブロック20診）

主に内科系スタッフが予約患者を中心に、初診患者も一部担当した。水曜日は内科スタッフが交代で担当している。

《呼吸器センター3診担当医師》

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
丸毛	櫻本	交代	鍵岡/丸毛	井上	

呼吸器センター4診（Aブロック19診）

午前中は、初診患者と予約患者を中心に、午後は予約患者を中心に診療した。

《呼吸器センター4診担当医師》

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
北島	高松	住友（外科）	糸谷	白田/櫻本	

2. 呼吸器内科の基本方針

呼吸器内科は、「患者さんに近い医療」を診療の根幹にしたいと考える。医療情勢がめまぐるしく変わる中、この軸足だけはぶれないように心がけたい。

当部門の基本方針は以下の通りである。

- 呼吸器センターとして、呼吸器外科と密接に連携を図り、呼吸器疾患で苦しむ患者さんに最良の診療を提供する。
- 内科の1診療科として、他の内科診療科などと良好な連携のもとに全人的な診療を心がける。
- 他職種と協同して行うチーム医療に重点を置く。
- 積極的に新しい知見や技術を取り入れ、最新の医療を適切に行うために努力を惜しまない。

3. 呼吸器内科のスタッフ紹介

病棟医長の櫻本副部長と丸毛副部長・糸谷副部長に加え、医員4名、シニアレジデント7名の体制で臨んだ。科の性格上、緊急入院が非常に多く、スタッフの過重労働が大きな問題であったが、呼吸器内科を志望してくれる後期レジデントが徐々に増えて7名となり、大きな戦力となっている。これまでレジデントであった羽間医師は、平成27年4月から神戸大学大学院に進学した。

なお、福島県立医科大学会津医療センター漢方医学講座の鈴木雅雄先生には、第12研究部の客員研究員として週1回COPD患者に対して鍼治療の臨床研究を継続してもらうとともに、入外患者の漢方治療や鍼治療に関して指導してもらっている。

医 師		資格など
福井 基成 ふくい もとなり	副院長 呼吸器センター長 呼吸器内科主任部長	京都大学医学博士、京都大学医学部臨床教授 日本内科学会指導医 日本呼吸器学会専門医・指導医・代議員 呼吸ケア・リハビリテーション学会代議員
櫻本 稔 さくらもと みのる	副部長 病棟主任	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会専門医・指導医 日本アレルギー学会専門医
丸毛 聡 まるも さとし	副部長 病棟主任	日本結核病学会結核非結核性抗酸菌症認定医 日本内科学会認定医、日本化学療法学会認定医 Infection Control Doctor、産業医
糸谷 涼 いとたに りょう	副部長	日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本旅行医学会旅行医学認定医
片山 優子 かたやま ゆうこ	医員	日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医
高松 和史 たかまつ かずふみ	医員	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会専門医
井上 大生 いのうえ だいき	医員	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会専門医
北島 尚昌 きたじま たかまさ	医員	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
河島 暁 かわしま さとる	後期レジデント	日本内科学会認定医
島 寛 しま ひろし	後期レジデント	日本内科学会認定医
白田 全弘 しらた まさひろ	後期レジデント	日本内科学会認定医
渡邊 アヤ わたなべ あや	後期レジデント	
高島 玲奈 たかしま れいな	後期レジデント	
山城 春華 やまき はるか	後期レジデント	
鍵岡 均 かぎおか ひとし	非常勤医	日本内科学会指導医、日本呼吸器学会専門医
鈴木 雅雄 すずき まさお	客員研究員	福島県立医科大学会津医療センター 漢方医学講座准教授

4. 呼吸器内科 外来実績

平成 27 年度外来患者数：25,612 名（2,134 名／月）（入院中外来を含む）

- 初診患者 2,281 名
- 地域医療室経由事前予約紹介患者数 490 名。
- 外来化学療法 のべ 2,409 件実施（腫瘍内科と協同して実施）

内科外来を受診される患者としては、気管支喘息、COPD、肺癌、睡眠時無呼吸症候群、慢性呼吸不全、気管支拡張症、非結核性抗酸菌症、間質性肺炎などが多い。最近、特に間質性肺炎や非結核性抗酸菌症の患者が増加している。また、肺結核と診断される患者も依然として多い。

なお、2006 年に当科と当院薬剤部、北区北支部薬剤師会、そして地域の保険薬局が協同して立ち上げた「吸入指導ネットワーク」により、保険薬局において統一された吸入指導を受けることが可能となり、喘息や COPD 患者の吸入手技や吸入治療アドヒアランスの向上などに成果を上げている。

5. 呼吸器内科 入院実績

平成 27 年度入院患者数：1,330 名（月平均 104.8 名）

- 平均年齢 69.3 歳
- 検査目的 287 名、治療目的 1,043 名
- 平均在院日数 16.2 日（検査目的 3.71 日、治療目的 19.85 日）
- 緊急入院患者 579 名（全体の 43.5%）
- 10 東・9 西以外の病棟に入院する患者 420 名（31.6%）

肺癌、肺炎、睡眠時無呼吸症候群、間質性肺炎などのびまん性肺疾患、喘息・COPD、呼吸不全などによる入院が多い。

呼吸器内科の病床としては、10 階東病棟の 40 床と 9 階西など他病棟を加えた 52 床が定員であったが、実際には定員を大幅に超えることが多い。

主治医は基本的にスタッフか 5 年目のレジデントが務め、後期レジデントやスーパーローテーターが担当医として研修を行った。

入院患者の疾患別内訳は以下の通りである。

疾患	患者数（名）
肺癌など悪性腫瘍（疑いを含む）	515
良性腫瘍	2
インフルエンザ・上気道炎・気管支炎	11
肺炎	221
敗血症	3
肺膿瘍・敗血症性肺塞栓症など	18
肺真菌症（アスペルギルスなど）	11
結核（胸膜炎を含む）	15
非結核性抗酸菌症	23
気管支拡張症	16
気管支喘息	50
COPD	17
呼吸不全	82
心不全・右心不全	8
肺塞栓症・肺高血圧症	1
睡眠時無呼吸症候群	128
気胸	24
胸水・胸膜炎・膿胸	19
間質性肺疾患・びまん性肺疾患	100
サルコイドーシス（疑いを含む）	13
肺血管炎	7
血痰・喀血・肺胞出血	13
気道狭窄・気道異物	1
胸部異常陰影・無気肺	11
その他	21
合計	1330

6. 呼吸器内科 検査実績

- **気管支鏡検査（内視鏡室で実施分）：270 件**
BAL 57 件、TBB 49 件、TBLB 107 件、EBUS-TBNA 19 件、EBUS-GS 78 件
気胸合併は 0 件であった。
- **CT ガイド下生検：4 件**
肺末梢病変などでは、最初から胸腔鏡下肺生検を行う例が増え、CT ガイド下生検は減少傾向である。
- **呼吸機能検査**
精密呼吸機能 363 件、スパイロ 1,205 件、気道可逆性試験 544 件
- **呼気 NO 検査：1,244 件**
- **睡眠呼吸検査**
ポリソムノグラフィー(PSG) 137 件、簡易 PSG (Morpheus) 25 件
SpO₂ モニタリング 283 件
慢性呼吸不全患者に対して経皮二酸化炭素分圧測定を併用した PSG を行い、睡眠呼吸障害（睡眠低換気）の正確な把握を行っている。

7. 呼吸器内科診療の動向

肺癌

治療入院のうち、最も多いのが肺癌患者である。

進行非小細胞肺癌の診断・治療は近年大きく変わりつつある。特に、非扁平上皮肺癌においては、まず EGFR 遺伝子変異や ALK 遺伝子転座の有無を確認し、これらが陽性の患者に対しては、first line からチロシンキナーゼ阻害薬が積極的に用いられ、良好な診療成績を上げている。

呼吸器感染症

高齢者の肺炎患者は、栄養障害や嚥下障害、ADL 低下などを合併していることが多い。入院初期から栄養サポートやリハビリテーションを積極的に導入している。また、退院後の介護や生活サポートを要する患者も多く、入院の早い段階から、地域医療コーディネーターと連携をとり、退院後の生活がスムーズに行くように心がけている。水曜日昼に開催される病棟カンファレンスには、医師・看護師に加えて、地域医療コーディネーター・ケースワーカー、薬剤師、理学・作業療法士、栄養士などが集まり、様々な問題点について合同で協議している。ただし、独居老人や老々介護の場合、肺炎が治っても在宅療養に移行できず、転院待ちの状態が長期間続くことが問題となっている。

その他、**非結核性抗酸菌症**も中年以降の女性を中心に増えており、特に空洞を伴う難治性の場合、長期間の入院による安静および点滴治療を余儀なくされることがある。

びまん性肺疾患

間質性肺炎などびまん性肺疾患の診断・治療のための入院が多くなっている。間質性肺炎では、特発性肺線維症（IPF/UIP）より、鳥関連慢性過敏性肺炎や膠原病肺との鑑別が必要な患者が多い。初診時から詳細な血液検査や環境についての問診を行い、慢性過敏性肺炎を疑う患者では、自宅などの環境調査を行い、羽毛製品の除去や環境整備を積極的に行っている。これらにより改善を示す患者も多い。これらによっても改善が乏しい場合には、ステロイドやシクロスポリン A による治療を試みている。典型的な IPF/UIP タイプは少なく、抗線維化薬としてピルフェニドンやニンテダニブを用いる患者は多くない。

睡眠呼吸障害

閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対して、鼻 CPAP 治療を導入した件数は着実に増加している（平成 27 年度、在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料算定患者は 193 名）。これらの患者は月 1 回の定期通院が必要であり、外来混雑の要因となっている。地域医療サービスセンターの協力の下、**OSAS 地域連携クリニカルパス**により、開業医の先生との連携を試みている。

なお、中等症までの閉塞性睡眠時無呼吸症候群で、特に下顎が小さく後退している患者については、提携先のさちこ歯科で口腔内装置（OA）を作成して治療に用いており、良好な効果を上げている（平成 27 年度は 67 名紹介）。

呼吸不全・その他

慢性呼吸不全の患者については、薬物療法に加えて積極的に呼吸リハビリテーションを導入している。また、在宅酸素療法（平成 27 年度指導管理料算定患者は 97 名）、在宅人工呼吸療法（NPPV）（平成 27 年度指導料算定患者 42 名）の導入時には、長時間記録可能な SpO₂ モニタリングや経皮 CO₂ モニタリング、ポリソムノグラフィーなどを用いて正確な病態把握を行い、患者に適した酸素流量の決定や NPPV 機器設定を行っている。

在宅療養に移行する場合は、地域医療コーディネーターを通じて、かかりつけ医や訪問看護、在宅介護と密な連携を図っている。

鍼治療・漢方治療の積極的な導入も図っている。現在、明治国際医療大学の鈴木雅雄客員研究員を中心に、COPD 患者に対する長期鍼治療の効果を見るための臨床研究を外来で実施中である。また、入院中の癌患者の疼痛やしびれ、重症呼吸不全患者の呼吸苦などに対しても鍼治療を応用しつつある。一方、漢方治療に関しても、鈴木研究員の指導の下、一般診療に積極的に導入している。特に呼吸器疾患の患者は、心身のバランスを崩している方も多く、漢方治療がしばしば著効している。

8. 呼吸器内科 2015 年度業績 (2015.4.1~2016.3.31)

【呼吸器内科主催・担当研究会】

- 第 25 回地域包括呼吸ケアを考える会 (2015. 5. 16 きたのホール)
- 第 7 回 Osaka Respiratory Expert Seminar (2015. 5. 30 大阪市中央区)
- 神戸薬科大学チーム医療シンポジウム (2015. 6. 14 神戸市東灘区)
- 第 8 回 Osaka Respiratory Expert Seminar (2015. 10. 31 大阪市中央区)
- 第 26 回地域包括呼吸ケアを考える会 (2015. 11. 21 きたのホール)
- 大阪 NIP ミーティング (2016. 1. 21 大阪市中央区)
- 第 10 回吸入指導ネットワーク講習会 (2016. 3. 19 きたのホール)
- 第 5 回近畿 LAMP 研究会 (2016. 3. 26 大阪市北区)

【誌上発表】

原著・症例報告

Ueda Y, Huang CL, Itotani R, Fukui M. Endobronchial Watanabe Spigot Placement for a Secondary Pneumothorax. *J Bronchology Interv Pulmonol*. 2015 Jul;22(3):278-80.

Oguma T, Hirai T, Fukui M, Tanabe N, Marumo S, Nakamura H, Ito H, Sato S, Niimi A, Ito I, Matsumoto H, Muro S, Mishima M. Longitudinal shape irregularity of airway lumen assessed by CT in patients with bronchial asthma and COPD. *Thorax*. 2015 Aug;70(8):719-24.

Ikezoe K, Handa T, Tanizawa K, Kubo T, Oguma T, Hamada S, Watanabe K, Aihara K, Sokai A, Nakatsuka Y, Muro S, Nagai S, Uno K, Chin K, Fukui M, Hirai T, Mishima M. Bone mineral density in patients with idiopathic pulmonary fibrosis. *Respir Med*. 2015 Sep;109(9):1181-7.

Iwata T, Ito I, Niimi A, Ikegami K, Marumo S, Tanabe N, Nakaji H, Kanemitsu Y, Matsumoto H, Kamei J, Setou M, Mishima M: Mechanical Stimulation by Postnasal Drip Evokes Cough. *PLoS One*. 2015 Nov 18;10(11):e0141823. doi: 10.1371/journal.pone.0141823. eCollection

Yamanashi K, Marumo S, Shoji T, Fukui T, Sumitomo R, Otake Y, Sakuramoto M, Fukui M, Huang CL. The relationship between perioperative administration of inhaled corticosteroid and postoperative respiratory complications after pulmonary resection for non-small-cell lung cancer in patients with chronic obstructive pulmonary disease. *Gen Thorac Cardiovasc Surg*. 2015 Dec;63(12):652-9.

Kinose D, Ogawa E, Kudo M, Marumo S, Kiyokawa H, Hoshino Y, Hirai T, Chin K, Muro S, Mishima M. Association of COPD exacerbation frequency with gene expression of pattern recognition receptors in inflammatory cells in induced sputum. *Clin Respir J*. 2016 Jan;10(1):11-21. doi: 10.1111/crj.12171. PMID: 24902764 (2017 年 4 月追加)

Yamanashi K, Sato M, Marumo S, Fukui T, Sumitomo R, Shoji T, Otake Y, Katayama T, Huang CL: Emphysematous lungs do not affect visibility of virtual-assisted lung mapping. *Asian Cardiovasc Thorac Ann*. 2016 Feb;24(2):152-7.

小林岳彦, 丸毛聡, 加藤元一: 気管支内視鏡検査のアプローチの手順が末梢肺病変の診断率に与える影響. *気管支学* 37(2): 148-152, 2015.

丸毛聡: 慢性閉塞性肺疾患に対するチオトロピウムとインダカテロールの併用療法からグリコピロニウム/インダカテロール配合剤への切り替えの検討: 単施設での自己対照比較研究. *呼吸器内科*; 2015 年 9 月号

総説

丸毛聡：MAC 症の患者さんの治療開始のタイミングや薬剤がよくわかりません。レジデントノート増刊号

【口頭発表】

学会報告（一般演題）

R.Itotani, A.Kotani, R.Takashima, H.Yamaki, H.Shima, M. Shirata, S. Kawashima, T. Kitajima, K.Takamatsu, D.Inoue, S.Marumo, M.Sakuramoto, M.Fukui : Post-operative Outcomes in Non-Small Cell Lung Cancer Patients with Mild to Moderate Chronic Obstructive Pulmonary Disease. European Lung Cancer Conference.2015.4.15-4.18.ジュネーブ

白石祐介、丸毛聡、井上大生、岡野光真、和泉俊明、辻本孝平、糸谷涼、櫻本稔、福井基成：気流閉塞のない肺気腫に伴う重症肺高血圧症の一例。第 112 回日本内科学会総会講演会「医学生研修医のことはじめ」。2015.4.11 京都

井上大生、白田全弘、島 寛、河島暁、北島尚昌、高松和史、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：細菌性肺炎における入院時プレセプシンの測定意義についての検討。第 89 回感染症学会総会。2015.4.16.京都

丸毛聡、星野勇馬、佐藤篤靖、室繫郎、平井豊博、三嶋理晃：p38 MAPK はマウスにおいて喫煙による肺気腫形成の感受性を決定する。第 55 回日本呼吸器学会学術講演会。2015.4.17. 東京

丸毛聡、白田全弘、島寛、河島暁、北島尚昌、高松和史、糸谷涼、櫻本稔、福井基成：重症薬剤性肺障害にステロイドに加えヒトリコンビナントトロンボモデュリンの投与が有効であった 1 例。第 55 回日本呼吸器学会学術講演会。2015.4.17. 東京

熊谷尚悟、丸毛聡、山梨恵次、徳野純子、上田雄一郎、庄司剛、黄政龍、福井基成：完全切除非小細胞肺癌症例において気腫合併肺線維症(CPFE)が予後に与える影響。第 55 回日本呼吸器学会学術講演会。2015.4.17. 東京

片山優子、島 寛、白田全弘、河島 暁、羽間大祐、北島尚昌、井上大生、高松和史、糸谷 涼、丸毛 聡、櫻本 稔、福井基成：上気道疾患を合併した気管支喘息における辛夷清肺湯の治療効果の検討。第 55 回日本呼吸器学会学術講演会。2015.4.17.東京

北島尚昌、島寛、白田全弘、河島暁、羽間大祐、井上大生、高松和史、片山優子、糸谷涼、櫻本稔、丸毛聡、福井基成：在宅酸素療法導入における加速度センサー付き連続記録パルスオキシメータの有用性。第 55 回日本呼吸器学会学術講演会。2015.4.17. 東京

小谷アヤ、北島尚昌、高島伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、河島暁、井上大生、片山優子、高松和史、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：抗生剤不応の発熱を伴った肺野異常陰影の一例。第 60 回大阪北肺疾患勉強会。2015.5.11.大阪

丸毛聡、白田全弘、島寛、河島暁、羽間大祐、北島尚昌、片山優子、高松和史、糸谷涼、櫻本稔、福井基成：実地臨床における低用量 ICS/LABA 配合剤からのステップダウンの検討。第 64 回日本アレルギー学会学術大会。2015.5.26. 東京

高島伶奈、小谷アヤ、山城春華、白田全弘、島寛、河島暁、北島尚昌、井上大生、片山優子、高松和史、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成、福井崇将、山科恵次、住友亮太、庄司剛、黄政龍：肺腺癌に合併した minute pulmonary meningothelial-like nodules(MPMNs)の 1 例。第 61 回呼吸器疾患同好会。2015.6.3.大阪

丸毛聡：重症薬剤性肺障害にステロイドに加えヒトリコンビナントトロンボモデュリンの投与が有効であった1例.第21回大阪DIC研究会. 2015.6.10.大阪

山形 昂、片山優子、島 寛、糸谷 涼、丸毛 聡、櫻本 稔、福井基成：Bucillamine 内服中止後も急速に胸水貯留が増悪した yellow nail syndrome の1例. 第208回日本内科学会近畿地方会.2015.6.27.京都

河島暁、小谷アヤ、高島伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、高松和史、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：胆管転移による閉塞性黄疸を合併した肺腺癌の一例.第102回日本肺癌学会.関西支部学術集会. 2015.7.4. 大阪

島 寛、井上大生、高島伶奈、山城春華、小谷アヤ、白田全弘、河島 暁、北島尚昌、片山優子、高松和史、糸谷 涼、丸毛 聡、櫻本 稔、福井基成：中枢神経系転移を認めた ALK 融合遺伝子陽性の肺腺癌に対して alectinib を投与した3症例. 第102回日本肺癌学会 関西支部学術集会.2015.7.4.大阪

島 寛、丸毛 聡、小谷アヤ、高島伶奈、山城春華、白田全弘、河島 暁、北島尚昌、井上大生、片山優子、高松和史、糸谷 涼、櫻本 稔、福井基成：apixaban 内服中にプロトンポンプ阻害薬による薬剤性肺障害を発症した1例. 第115回日本結核病学会.第85回日本呼吸器学会近畿地方会.2015.7.11.奈良

白田全弘、高島伶奈、山城春華、小谷アヤ、島 寛、河島 暁、北島尚昌、井上大生、片山優子、高松和史、糸谷 涼、丸毛 聡、櫻本 稔、福井基成：治療経過中に皮膚筋炎の合併が疑われた ALK 融合遺伝子陽性肺腺癌の1例. 第115回日本呼吸器学会近畿地方会.2015.7.11.奈良

小谷アヤ、丸毛聡、高島伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、河島暁、北島尚昌、井上大生、高松和史、片山優子、糸谷涼、櫻本稔、福井基成：高用量ステロイド投与により陰影が縮小した浸潤性粘液産生性腺癌の1剖検症例. 第85回日本呼吸器学会近畿地方会・第115回日本結核病学会近畿地方会.2015.7.11.奈良

山城春華、高島伶奈、小谷アヤ、島寛、白田全弘、河島暁、北島尚昌、井上大生、高松和史、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：肺癌術後に明らかになった悪性関節リウマチの1例. 第85回日本呼吸器学会近畿地方会・第115回日本結核病学会近畿地方会.2015.7.11.奈良

高島伶奈、高松和史、小谷アヤ、山城春華、白田全弘、島寛、河島暁、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：肺腺癌に合併した minute pulmonary meningothelial-like nodules(MPMNs)の1例.第85回日本呼吸器学会近畿地方会.2015.7.11.奈良

山形昂、丸毛聡、井上大生、小谷アヤ、高島伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、河島暁、北島尚昌、片山優子、高松和史、糸谷涼、櫻本稔、福井基成：腹膜透析導入後に Propionibacterium acnes 感染により発症したサルコイドーシスの1例. NPO 法人西日本呼吸器内科医療推進機構 平成27年度夏季学術集会. 2015.7.25 大阪

井上大生、白田全弘、島 寛、河島暁、北島尚昌、高松和史、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成、三上真充、明石良子、羽田敦子、秦大資：スワブによる咽頭ぬぐい液を用いた LAMP 法による Mycoplasma pneumoniae 感染診断における PURE 法 DNA 抽出キット導入の検討.第85回感染症学会西日本地方会.2015.10.15.奈良

北島尚昌、島寛、白田全弘、河島暁、井上大生、高松和史、片山優子、糸谷涼、櫻本稔、丸毛聡、福井基成：睡眠時低換気合併 COPD は推定収縮期肺動脈圧上昇と肺動脈拡張を認める. 第25回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会. 2015.10.15. 千葉

白田全弘、高島伶奈、山城春華、小谷アヤ、島 寛、河島 暁、北島尚昌、井上大生、片山優子、高松和史、糸谷 涼、丸毛 聡、櫻本 稔、福井基成：ハウスキーピング遺伝子解析により Mycobacterium triplex と同定し得た肺非結核性抗酸菌症の1例. 日本感染症学会中日本地方会.2015.10.16.奈良

山城春華、高島伶奈、小谷アヤ、島寛、白田全弘、河島暁、北島尚昌、井上大生、高松和史、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：肺癌術後に明らかになった悪性関節リウマチの1例.第61回大阪北肺疾患勉強会.2015.11.16.大阪

北島尚昌、杉内陽子、福井基成：多職種で考える慢性呼吸不全と地域連携. 泉州大正呼吸ケアカンファレンス. 2015.10.29. 大阪

丸毛聡：CPFE 合併肺癌の課題. 第8回 Osaka Respiratory Expert Seminar. 2015.10.31. 大阪

井上大生、福井基成：当院における非 HIV ニューモシスチス肺炎から思う臨床的疑問点. 第3回とことんセミナー.2015.11.20.大阪

北島尚昌、福井基成：ハイフローセラピー. 第26回地域包括呼吸ケアを考える会. 2015.11.21.大阪

糸谷涼、小谷アヤ、高島伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、河島暁、北島尚昌、井上大生、片山優子、高松和史、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：Post-operative Outcomes in Non-Small Cell Lung Cancer Patients with Mild to Moderate Chronic Obstructive Pulmonary Disease. 第56回日本肺癌学会学術総会.2015.11.27. 横浜

高松和史、小谷アヤ、高島伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、河島暁、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：小細胞肺癌患者における長期予後に関する後方視的検討.第56回日本肺癌学会学術総会.2015.11.28. 横浜

高島伶奈、高松和史、小谷アヤ、山城春華、白田全弘、島寛、河島暁、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：皮膚筋炎を合併した肺大細胞神経内分泌癌の一例. 第62回呼吸器疾患同好会. 2015.12.3 大阪

河島暁、小谷アヤ、高島伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、高松和史、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：右上葉に6箇所の変性を認めた同時性多発肺癌の1例.第86回日本呼吸器学会近畿地方会. 2015.12.19. 京都

島寛、北島尚昌、小谷アヤ、高島伶奈、山城春華、白田全弘、河島暁、井上大生、片山優子、高松和史、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：EGFR、K-RAS 両遺伝子の変異を認め、erlotinib が奏効した肺腺癌の1例.第86回日本呼吸器学会近畿地方会.2015.12.19.京都

白田全弘、高島伶奈、山城春華、小谷アヤ、島寛、河島暁、北島尚昌、井上大生、片山優子、高松和史、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：空調肺が疑われた1例. 第86回日本呼吸器学会近畿地方会.2015.12.19.京都

山城春華、高島伶奈、小谷アヤ、島寛、白田全弘、河島暁、北島尚昌、井上大生、高松和史、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：肺化膿症と鑑別を要し、多発薄壁空洞を形成した invasive mucinous adenocarcinoma の1例. 第86回日本呼吸器学会近畿地方会.2015.12.19.京都

高島伶奈、高松和史、小谷アヤ、山城春華、白田全弘、島寛、河島暁、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：肺大細胞神経内分泌癌を合併した皮膚筋炎の1例. 第86回日本呼吸器学会近畿地方会.2015.12.19.京都

小谷アヤ、北島尚昌、高島伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、河島暁、井上大生、高松和史、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：家族内発症した Mycobacterium avium 感染症の2症例.第86回日本呼吸器学会近畿地方会.2015.12.19.京都

北島尚昌、小谷アヤ、山城春華、高島伶奈、島寛、白田全弘、河島暁、井上大生、高松和史、片山優子、糸谷涼、櫻本稔、丸毛聡、福井基成：COPD 患者における睡眠時低換気と肺高血圧の関係. 第 75 回研究所セミナー. 2016.1.20. 大阪

白田全弘、高島伶奈、山城春華、小谷アヤ、島 寛、河島 暁、北島尚昌、井上大生、片山優子、高松和史、糸谷 涼、丸毛 聡、櫻本 稔、福井基成：NPPV 使用中に Chyene-Stokes 呼吸を認めた数例の検討.大阪 NIP ミーティング.2016.1.20. 大阪

学会 (シンポジウム)

福井基成：吸入療法の課題と薬剤師に期待すること. 第 25 回日本医療薬学会年会シンポジウム 37「病薬連携をどのようにして強化させていくか? ~吸入指導を通じたエビデンスの構築~」.2015.11.23.神奈川

講演

丸毛聡：喘息疫学調査から読み解く課題と対策~吸入ステロイド薬の使い分けを中心に~. Osaka Asthma Meeting. 2015.5.28. 大阪

福井基成：在宅呼吸ケアのポイント-より正確に病態を把握し、より多くの人で支える-. 東三学術講演会.2015.6.6.愛知

福井基成：地域で取り組む喘息・COPD 患者への吸入指導-吸入指導ネットワークの試み-. 北和地区吸入指導勉強会.2015.6.13.奈良

丸毛聡：喘息疫学調査から読み解く課題と対策~吸入ステロイド薬の使い分けを中心に~. Kitakawachi Asthma Meeting 2015. 2015.6.13. 大阪

福井基成：吸入療法の現状と課題、そして吸入指導ネットワークの立ち上げへ. 神戸薬科大学第 8 回シンポジウム「呼吸器疾患における吸入指導について-地域における呼吸器ネットワーク-」.2015.6.14. 神戸

福井基成：在宅呼吸ケアについて.大阪呼吸ケア研究会 第 7 回呼吸ケア研修会.2015.6.20.大阪

福井基成：在宅呼吸ケアのポイント-より正確に病態を把握し、より多くの人で支える-. 淀川区医師会学術講演会.2015.6.24.大阪

福井基成：在宅呼吸ケアのポイント-より正確に病態を把握し、より多くの人で支える-. 日本呼吸器学会中国・四国地方会ランチョンセミナー4.2015.7.4.愛媛

丸毛聡：重症薬剤性肺障害における遺伝子組み換えトロンボモデュリンの可能性. 第 1 回城北トロンボモデュリン研究会. 2015.7.30. 東京

丸毛聡：喘息の管理目標達成へ向けた治療戦略~吸入指導の重要性とレルベアの使用経験~. Respiratory Forum in 近畿 2015. 2015.8.2. 大阪

福井基成：最近の吸入療法. 第 1 回日本呼吸ケアリハ学会地方会教育講演.2015.8.22.大阪

丸毛聡：『喘息診療の課題と解決策』~実地臨床における吸入ステロイド薬の適切な使用法を中心に~. 中・南河内喘息疾患研究会. 2015.8.22. 大阪

糸谷 涼：肺癌について. マルゼン薬局 社内講義.2015.8.22.大阪

糸谷 涼：北野病院での EGFR+ 肺癌について. Lilly Oncology OSAKA Ladies Leaders Meeting.2015.8.26.大阪

福井基成：地域で取り組む喘息・COPD 患者への吸入指導-吸入指導ネットワークの試み-. 第 2 回高井病院近隣保険薬局吸入指導勉強会.2015.8.27.奈良

丸毛聡：固形癌の合併症における遺伝子組み換えトロンボモデュリン (rTM) の可能性. 癌と凝固異常セミナー. 2015.8.27. 大阪

福井基成：呼吸モニタリングについて. 生理検査室講義.2015.9.3.北野病院

福井基成：地域で取り組む喘息・COPD 患者への吸入指導-吸入指導ネットワークの試み-. 第 397 回静岡県西部胸部疾患懇話会.2015.9.10.静岡

福井基成：在宅呼吸ケアのポイント-より正確に病態を把握し、より多くの人で支える-. 第 3 回西神奈川呼吸ケア研究会.2015.9.12.神奈川

福井基成：地域で取り組む喘息・COPD 患者への吸入指導-吸入指導ネットワークの試み-. 東神戸吸入療法セミナー.2015.9.17.兵庫

丸毛聡：地域で取り組む喘息・COPD 患者への吸入指導. 第 2 回明日から役立つ喘息・COPD 勉強会. 2015.9.17. 奈良

丸毛聡：呼気 NO を活用した喘息診療. 呼気 NO を考える会 in Hokusetsu. 2015.9.19. 大阪

福井基成：呼吸・循環機能の評価. 平成 27 年度 意識障害・廃用性症候群の看護認定教育課程.2015.9.21. 北海道

丸毛聡：プライマリケアにおける長引く咳嗽の診療～喘息との鑑別を含めて～. 南大阪呼吸器カンファレンス. 2015.10.3. 大阪

丸毛聡：地域で取り組む喘息・COPD 患者への吸入指導. 臨床医のための明日から役立つ COPD 診療セミナー. 2015.10.15. 兵庫

福井基成：息を知り、息を整える. 第 11 回日本ヒューマン・ナーシング研究学会学術集会.2015.10.24. 滋賀

福井基成：在宅呼吸ケアのポイント-より正確に病態を把握し、より多くの人で支える-. 第 25 回旭川呼吸器セミナー.2015.10.29.北海道

丸毛聡：呼気 NO を活用した咳嗽の鑑別と喘息の管理. 呼吸器疾患セミナー in Kitakawachi. 2015.11.7. 大阪

福井基成：在宅呼吸ケアのポイント-より正確に病態を把握し、より多くの人で支える-. 第 2 回大阪市西区医師会 学術講演会.2015.11.14.大阪

丸毛聡：慢性閉塞性肺疾患(COPD)と喘息の鑑別と合併. 第 9 回淀川 EXPERT MEETING. 2015.11.18. 大阪

井上大生：当院における肺結核診療. K2-net.2015.11.19.大阪

糸谷 涼：北野病院での肺癌診療. K2-net.2015.11.19.大阪

丸毛聡：COPD の病診連携. K2-net.2015.11.19.大阪

鈴木雅雄：COPD に対する鍼治療の長期効果の検討ーリクルートのお願い。K2-net.2015.11.19.大阪

丸毛聡：肺生理から見た COPD. 肺の生活習慣病講演会. 2015.12.2. 大阪

福井基成：慢性呼吸不全患者のセルフマネジメントをサポートする. 第 21 回東京呼吸ケア研究会. 2015.12.12.東京

福井基成：Opening Remarks：COPD と吸入療法. COPD Expert Seminar.2015.12.16.大阪

丸毛聡：病態生理から考える COPD. COPD Expert Seminar. 2015.12.16. 大阪

丸毛聡：呼吸器内科医が肺高血圧症で出来ること. 第 18 回大阪膠原病と肺循環を考えるフォーラム. 2016.2.5. 大阪

福井基成：在宅呼吸ケアのポイント-より正確に病態を把握し、より多くの人で支える-. 佐賀 NPPV ミーティング. 2016.2.13 佐賀

福井基成：慢性呼吸不全の在宅医療. 第 10518 回日本理学療法士協会講習会. 2016.3.5 大阪

丸毛聡：喘息との鑑別・合併を考慮した慢性閉塞性肺疾患（COPD）薬物治療
ベストプラクティス. スピオルトレスピマット発売記念講演会～呼吸の今と未来を考える～. 2016.3.9.
大阪

丸毛聡：慢性閉塞性肺疾患（COPD）における吸入療法のピットフォール～喘息との鑑別・吸入薬の
使い分けを中心に～. 港区医師会学術講演会. 2016.3.11. 大阪

福井基成：在宅呼吸ケアのポイント-より正確に病態を把握しより多くの人で支える-. 第 15 回京都呼
吸ケア研究会（2016.3.12 京都）

丸毛聡：吸入療法総論. 第 10 回吸入指導ネットワーク（2016.3.19 大阪）